



世界農業遺産の復興とは何か

山下良平(農村計画学会:石川県立大学)

2024/07/30 防災学術連携体令和6年能登半島地震
7ヶ月報告会@オンライン

1

世界農業遺産として認められた価値とは

[能登の里山里海について]

「能登の里山里海」は、日本列島のほぼ中央に位置する石川県の北部、日本海に突き出た能登半島の4市5町に広がっています。2011年6月、新潟県佐渡市の「トキと共生する佐渡の里山」とともに、国連食糧農業機関（FAO）により、日本で初めて世界農業遺産に認定されました。

[もう少し詳しく読む](#)



世界農業遺産「能登の里山里海」ロゴマーク

[世界農業遺産とは？]

世界的に重要な農業地域を未来へ引き継いでいくため、国連食糧農業機関（FAO）により2002年に開始されました。伝統的な農林漁法、伝統技術、農村文化や景観、生物多様性などを構成要素とした「地域システム」を認定し保全することを目指しており、正式にはGlobally Important Agricultural Heritage Systems（GIAHS：ジアス）といいます。



認められた価値は「幅広い日常」

出典：世界農業遺産 能登の里山里海
<https://noto-satoyama.com/>

2

能登にある世界農業遺産は皆の日常



「世界農業遺産 能登」の復興の難しさ

- 「**皆の日常**」によって維持されてきた**資源**（農地, 海, 山, ため池, 共有地）や**文化**（祭り, 文化行事）が「**世界農業遺産**」。その「**日常**」が脅かされた
- 現場で今起きていることは「**農的社会システム**」, 端的には「**担い手**」の刷新・再定義・再構築。
- **資源**や**文化**その存在自体を復旧・継承することと「**担い手**」の再構築は別問題であり, 地域個別の問題である。

4

より具体的にはどういうことか？

- 新しい「**担い手**」には, 新規の参入・参加もあれば, 合理化・統合による離脱（場合によっては排除）も起こりうる。
- この「**担い手**」の再構築は地域の合意によって進められるべき。急ぎすぎても, ゆっくり過ぎてもダメ。農村計画分野（+関連分野）の支援力が試される。
- それは「**かつて認められた『世界農業遺産』と言えるのか, 言えないのか**」, もっと言うと「**能登が世界農業遺産であるということは被災者・被災地にとって重要なのか, そうでもないのか**」

5

まとめ

- 世界農業遺産の復興とは何か＝能登において, 災害を経ても残したかったもの, 守りたかったもの, 変えたく（られたく）なかったものは何か？を再確認すること
- 地元大学としても, 農村計画学会としても, その声を拾い, 寄り添う活動に尽力

6